

ベトナム研修旅行記

2013年11月12日～18日 in ベトナム ホーチミン市
高井研究室 M1 根岸孝行

ベトナムは私にとって初めての海外の地でした。初日に空港へ着き、ホテルへ向かう道中でバイクが沢山走っており、日本とは違うなと日本を恋しく感じました。



国際学会で口頭発表することは、私の大学院での目標の一つでしたので、達成する事ができ嬉しく思います。これには小林先生や高井先生のご指導あつてのものでありますので、感謝しております。

下記を発表しました。

Takayuki Negishi, Naoki Arai, Nobukazu Takai, Masato Kato, Hiroaki Seki, Sumit Kumar Biswas, Haruo Kobayashi
“Automatic Synthesis of Comparator Circuit Using Genetic Algorithm,” The 4th IEICE International Conference on Integrated Circuits Design and Verification, Ho Chi Minh City, Vietnam (Nov. 15-16, 2013).



英語台本を作成する時に工夫した点は、単語のアクセントを強くする部分の色を変えることです。例えば、genetic algorithm は genetic algorithm とする事で、どこにアクセントをつけて発音すればよいか一目で分かります。

質疑応答では、質問者の英語を聞き取る事ができず、小林先生に助け舟をだして頂きました。自分の英語力の無さを痛感しました。今後も一層英語の勉強に力を入れて、話せるようになりたいと思います。

この口頭発表経験を通じて、英語の重要性を肌で感じました。このような英語プレゼンの機会は、今後もあると思いますので、今回の経験を生かしたいと思います。

Japan Festival が日越友好 40 周年を記念して開催されました。会場に行くと日本人というだけで、日本に興味があるベトナム人が話しかけてきてくれ、多くの人と交流をすることが出来ました。

会場で、学会の受付の方と偶然会って、市内を案内してくれました。おかげでベトナムコーヒーなど買う事が出来ました。以下の写真は、市内の博物館に連れて行って頂き、その中で撮った写真です。



今回のベトナム研修では、ベトナムにある日本企業の立場や意味、ホーチミン市の現状、ベトナム学生の日本語教育制度、ホーチミンの街並、ホーチミン市の大学など沢山の事を学びました。

1週間とは思えないほどの盛りだくさんの経験ができたなと思います。

このような経験ができたのも、小林先生、佐藤さん、志水さん、石川さんに研修準備をして頂けたおかげかと思います。英語すら通じない場所が多いベトナムで、不安無く過ごす事ができました。本当にありがとうございました。